

平和記念だより 97

2025年10月

◆編集・発行/高松市市民局人権・男女共同参画推進課 高松市平和記念館
◆連絡先/〒760-0068 高松市松島町一丁目15番1号 たかまつミライエ5階
TEL(087)833-2211 FAX(087)833-2244

高松空襲展

令和7年6月27日(金)～7月7日(月)に平和啓発事業企画展のスタートとして、高松空襲展「熱かった、苦しかったあの日」を開催しました。今回は、空襲直後の市街地を撮影した写真や焼夷弾が降り注ぎ、市民が逃げ惑う様子を描いた絵画など、約30点を展示しました。また、DVD「高松空襲 6人の証言」を映像学習室で放映したり、高松空襲語り部部会の池田^{みのる}さんの講話を聴いたりして、来場者への平和意識の一層の高揚を図りました。今年度はB29爆撃機による空襲だけでなく、その後の高松市街の復興を取り上げ、「中央通りの整備」や「琴電瓦町駅」、「常磐街の復興」の解説を展示し、戦後の市民の立ち上がりを伝えました。また、図書閲覧コーナーにおいて、VRゴーグルを使って『原爆投下前後の広島』の映像を多くの来場者に体験してもらうことができました。



空襲を体験した来場者の方々から、「空襲当時に丸亀に住んでいて、高松の方が赤く染まって手前の坂出の山々が影絵のように映し出されていたのが目に焼き付いている。」「国鉄高松駅から降りたら、何もかもが焼け落ちて、栗林公園が近くに見えてびっくりした。」など空襲当時の様子について貴重なお話を聞くことができました。ご来場の皆様、ありがとうございました。

高松空襲展

参加者アンケートより

ご協力ありがとうございます！

世界のいろんなところで、突然攻撃されて戦争が始まっています。一般市民には何も心当たりがないのに理不尽の上ないことです。絶対戦争を起こしてはならないと強く思うし、恒久平和を願います。

高校1年生になり、小学校の時以来久しぶりに平和記念館に来ました。終戦80年イベントの高松空襲展もあり、さらに広島原爆のVR体験もでき、いろんなことを学びました。またいつか来館して平和への意識を高めたいと思いました。

7月～8月に平和啓発事業各企画展・教職員のための平和教育講演会を開催しました。

高松市戦争遺品展 ～戦争は終わりましたか～

- 開催場所：瓦町 FLAG 2 階 コンコース
- 開催期間：7月12日（土）～7月18日（金）
- 展示内容：戦争に関する写真・パネル・資料等



終戦から 80 年経過した区切りの年であることを機に、「硫黄島」をキーワードとして、体験記や寄贈資料を展示しました。「戦前の平和な島の暮らし」から、「米軍の攻撃による玉砕」、そして「戦後の遺骨収集・慰霊碑建立」などの内容を中心とし、戦争による困難と悲劇を紹介しました。

教職員のための平和教育講演会

- 開催場所：高松市平和記念館
- 開催日：7月31日（木）
- 内容：高松空襲・太平洋戦争に関する講演



「高松市平和を願う市民団体協議会語り部部会」の杉村智子さんを講師にお迎えし、高松空襲の様子を描かれたエピソードや B29 爆撃機の焼夷弾投下についてご講演をいただきました。講演会後半は平和学習担当の職員が、本館が実施している平和学習に関係する展示について説明しました。

原爆展

- 開催場所：瓦町 FLAG 8 階 アートステーションギャラリー他
- 開催期間：7月24日（木）～8月15日（金）
- 展示内容：原爆関連資料の展示と原爆体験者の講演



長崎市、高松市平和を願う市民団体協議会と共催。核兵器廃絶を訴えるため、長崎原爆資料館所蔵の写真や原爆被災資料を展示しました。併せて、長崎と広島^{なごり}の被爆者による被爆体験の講話もあり、戦争がもたらした悲劇を学び、これからの平和を守っていく大切さを考えてもらいました。

証言 高松空襲

あの日わたしは

証言⑭ 塩田高明さん

空襲警報発令とともに（西の丸町にある自宅を出て）、学校（高松中学校）へ防空要員として登校した。空襲が始まって、職員室の重要書類をみんな^{なごり}で非常持出用の木製の長持に入れて運び出し、奉安殿の近くにあった防空壕に放り込んだ。まだ校舎にまで火は回っていなかったが、先生から「建物から離れて避難せえ。」と言われて西門近くの防空壕に移動した。目の前の講堂が燃え出し、南側にあるポプラの木に寄りかかるように崩れ落ちた。校舎も焼け落ちた。だんだん空が白み、夜が明けてきた。校庭には大勢の人が逃げてきており、けがをした人のうめき声が聞こえていた。

証言者プロフィール

- 当時 中学2年生
- 住所 西の丸町
- 家族 詳細不明
- 家業 運送業

「あの日わたしは 高松空襲～当時を伝える証言者の声～」(高松空襲を子どもたちに伝える会)証言映像より編集

平和映画☆上映会のお知らせ

平和記念館映像学習室において、次のとおり平和映画を上映します(無料)。

10 月の上映 「小さい潜水艦に恋をしたでかすぎるクジラの話 (野坂昭如戦争童話集)」(45 分)

日 時▶ 開館日の土・日・祝日、午後 1 時～

解 説▶ クジラのクー助が日本軍の潜水艦をクジラだと思い込み恋をした。潜水艦に乗っているのは、かつてクー助に助けられた少年。クー助は恋する潜水艦を敵の攻撃から守ろうとする。野坂昭如さん原作の戦争アニメーション。



11 月の上映 「ぞう列車がやってきた」(80 分)

日 時▶ 開館日の土・日・祝日、午後 1 時～

解 説▶ 戦争が激しくなる中、「動物園の猛獣を処分せよ」という命令に反抗し、象を守り抜いた東山動物園（名古屋市）の人々の姿を描いた長編アニメーション。やがて、終戦を迎え、日本でたった 2 頭の生き残った象を見るために各地から大勢の子どもたちを乗せた「ぞう列車」がやってくる。



12 月の上映 「ボクとガク -あの夏のものがたり-」(42 分)

日 時▶ 開館日の土・日、午後 1 時～

解 説▶ 小学生のボク(藤村希望)とガク(横田岳)を仲直りさせるために、一人暮らしの高齢者(美代)が語ったのは、八幡大空襲で亡くなった兄の話。空襲で亡くなった人々の分まで懸命に生きてきた美代の思いを知り、ボクとガクの絆は一層強くなる。平和と人権の大切さを訴えるアニメーション。



※ 都合により、上映作品・期間等を変更することがあります。

▽今後の行事予定▲

11 月

● 高松市戦争遺品等収蔵品巡回展

期 日 令和 7 年 11 月 16 日 (日)・17 日 (月)

場 所 中川文化センター

内 容 市民の皆様から寄贈された戦争遺品や高松空襲に関する資料等を展示

※ 都合により、開催を中止・延期する場合があります。



1941(昭和 16)年の太平洋戦争開戦当時、各省、企画院、防衛総司令部により制作され、各家庭に配布された小冊子。家庭だけでなく、隣組、学校、工場等での空襲に対する備えや対処法などが記されている。本冊子は発行年は不明だが、その改正版として大日本防空協会香川県支部から出されたものである。

「空襲警報が発令されたら」の項目では、家庭ではあらゆる容器に水を満たしておくとか、「焼夷弾が落ちたら」の項目では、直ちに周囲の燃えやすい物に水をかけ、焼夷弾に砂や土をかぶせるなどの方法を解説している。当時の政府は「爆弾や焼夷弾に当たって死傷するものは少ない」と教え、空襲から逃げないように指導した。

その後、大都市への大空襲が始まり、絨毯爆撃によって多くの死傷者が出てしまうのである。



平和記念館「企画展示コーナー」で展示中

参考：「時局防空必携解説」
昭和館デジタルアーカイブスより

奉安殿

【読み】ほうあんでん

【分類】戦時中の学校生活

戦前の昭和天皇と皇后の写真（御真影）や当時の教育理念である教育勅語を安置するために学校などに設けられた建物。1910 年代から全国で建設が始まった。登下校時やこの前を通過する際にも、職員・児童・生徒全てが服装を正してから最敬礼するなど、学校で最も神聖な場所として最大の敬意が払われた。高松空襲の際には、奉安殿を守るという義務が教師にはあり、当時の築地国民学校の校長先生と男の先生の二人が、炎に包まれる校舎の近くで、奉安殿の鉄扉に水をかけ通して死守したという目撃談が残っている。戦後は GHQ からの廃止方針を受け、日本政府は 1946(昭和 21)年、学校からの全面撤去を指示。多くは解体されたが、移設により解体を免れた例も少なくない。

参考：「今に伝える平和と生命の尊さ 高松市民による戦争体験記 第2集」
高松市平和を願う市民団体協議会 編
「資料が語る戦時下の暮らし」
羽島知之 編著 麻布プロデュース 発行

編集メモ

今年度の平和啓発事業の「高松空襲展」「戦争遺品展」「原爆展」には多くの来場者があり、戦後 80 年の節目として平和への関心の高まりを感じます。しかし、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルによるパレスチナのガザ地区攻撃が何年も収まらないなどの世界情勢に心を痛めている児童や生徒が平和学習の中で多く見られます。そこで、平和への願いを強く持つよう、本館が実施している平和学習の内容を高め、「平和を考える姿勢」を子どもたちの心の中に育んでいきたいと考えます。



たかまつミライエ

高松市平和記念館（たかまつミライエ 5 階）

開館時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始 12/29～1/3

入館料：無料

▼ホームページアドレス（平和啓発の推進事業がご覧いただけます） ▲QR コード

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/jinken/keihatsu/heiwa/index.html>

